ヤンマー本社ビル（YANMAR FLYING-Y BUILDING）へ再エネ電気の供給を開始

～ヤンマーグループ保有のバイオガス発電所由来の環境価値を活用した「自産自消」型の再エネ電気供給～

プレス発表日：2026 年 11 月 10 日
Daigas エナジー株式会社

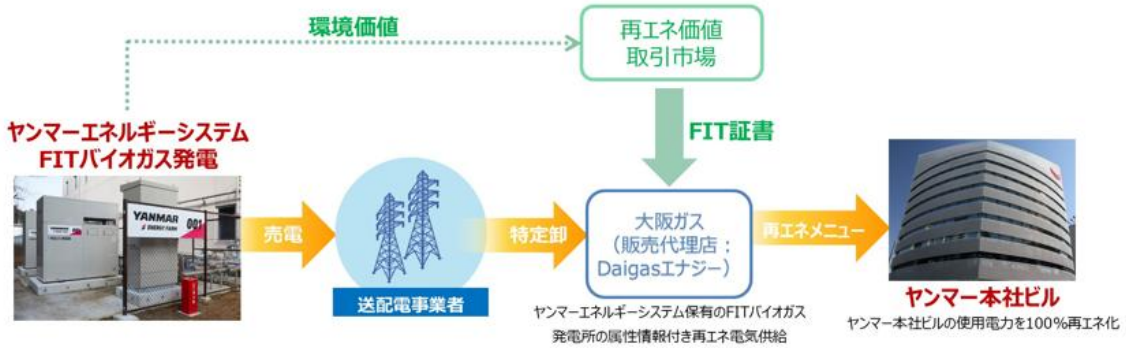
大阪ガス株式会社（以下「大阪ガス」）の 100%子会社である Daigas エナジー株式会社（以下「Daigas エナジー」）は、ヤンマーエネルギーシステム株式会社（以下「ヤンマーエネルギーシステム」）が保有するバイオガス発電所「YANMAR ENERGY FARM」に由来する環境価値を活用し、再エネ電気料金メニュー「D-Green※1」として、ヤンマー本社ビル（YANMAR FLYING-Y BUILDING）へ供給※2することに合意しました。

本取り組みは、大阪ガスが「FIT 特定卸供給※3」の仕組みを用いて、ヤンマーエネルギーシステム保有のバイオガス発電所に由来する環境価値を再エネ電源と組み合わせ、ヤンマー本社ビルへ供給するものです。11 月 1 日より、ヤンマー本社ビルへの再エネ電気供給を開始しており、今後、対象となるバイオガス発電所由来の環境価値を順次組み合わせていく予定です。

なお、需要家（グループ）保有の FIT バイオガス発電所由来の環境価値を活用し、同グループの別拠点に再エネ電気を供給するのは、本取り組みが Daigas グループとして初の事例となります。

ヤンマーグループでは、今回の再エネ電気の導入を、2050 年に向けた、企業活動や製品のライフサイクル全体における温室効果ガス（GHG）排出量の削減と、資源循環による環境負荷の低減を目指す「YANMAR GREEN CHALLENGE 2050」の達成に向けた施策の一環として位置づけており、ヤンマー本社ビルが購入する電気は 100%再エネ電気となります。

【供給スキーム】



Daigas グループは、2050 年のカーボンニュートラル実現に向け、国内外で、自社開発や保有に加えて他社からの調達も含めた再エネ普及貢献量を 2030 年度までに 500 万 kW※4 に拡大することを目指しています。

今後も、Daigas グループは再エネ活用を積極的に支援し、脱炭素の推進に取り組む法人のお客さまとともに、カーボンニュートラル社会の実現に向けた課題の解決に努めてまいります。

※1：D-Green：大阪ガスが提供する、再生可能エネルギー指定の非化石証書を活用した再エネ 100%の電気料金メニュー。詳細はこちら。

※2：Daigas エナジーを代理店として、小売電気事業者である大阪ガスがヤンマーエネルギーシステムへ電力を供給。

※3：一般送配電事業者が FIT 制度に基づき買い取った電気について、発電者の同意を得た小売電気事業者が、対象となる発電所を特定して卸供給を受ける仕組み。本取り組みでは、当該発電所由来の FIT 非化石証書の優先割当を受けるために活用します。

※4：建設中や既に意思決定済みの案件および FIT 制度の適用電源を含む。